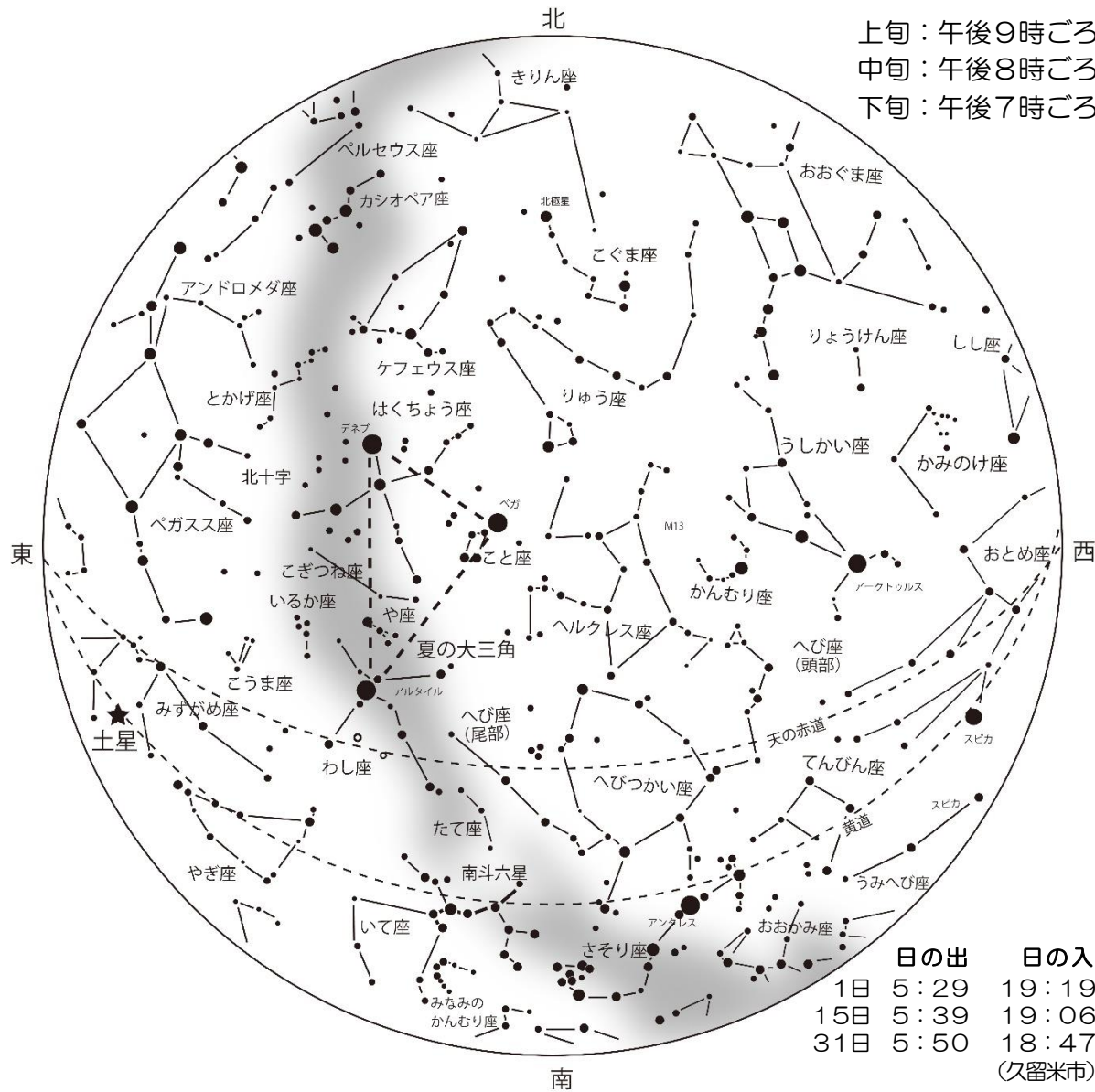


令和5年 8月の星空さんぽ☆ガイド

～ほしを眺めてみませんか～

★8月の星空案内

上旬：午後9時ごろ
中旬：午後8時ごろ
下旬：午後7時ごろ



8月に入り、太陽が照りつける時期となりました。8月の夜空では夏の星座たちが見ごろとなります。夏の星座を見つけるコツは、明るく輝く3つの1等星を結んでできる『夏の三角形』を見つけることです。夏の三角形は、ベガ、アルタイル、デネブの3つの星を結んでできる三角形です。まずは『夏の三角形』の中で一番明るい、こと座のベガを探しましょう。ベガは上図の時間帯に頭の真上あたりでひときわ明るく輝いています。この星は、全天で5番目に明るく、見つけやすい星の一つです。こと座はベガとすぐそばにある4つの星でつくる小さな四角形が目印です。夏の三角形の2つ目の星は、ベガから南東の空に目線移すと見つけることができるわし座のアルタイルです。わし座はアルタイルと両脇にある2つの星が目印です。夏の三角形の3つ目の星は、ベガから北東の空に目線移すと見つけることができるはくちょう座のデネブです。はくちょう座は北十字とよばれる十字の星の並びが目印です。『夏の三角形』を見つけると、こと座、わし座、はくちょう座の3つの星座を見つけることができます。そして、南の空低いところへ目線移すと、赤く輝く1等星のアンタレスを見つけることができます。ここにはアンタレスを含んだアルファベットのSの字のような星の並びを目印に、さそり座を見つけることができます。また、さそり座の東にはスプーンのような形をした6つの星の並び南斗六星を目印に、いて座を見つけることができます。夏の三角形は街明かりのある久留米でも十分探すことができるので、夏の三角形を目印に星座さがしをしてみたいはいかがでしょうか。

【見ごろの惑星】 (☆マークは、今月のおすすめです。)

- 水星 (0.5等前後)：しし座→ろくぶんぎ座付近 日の入り後西の低空に輝く。(上旬)。
- 金星 (-4.1等前後)：しし座付近 観望に適さない。
- 火星 (1.7等前後)：しし座→おとめ座付近 観望に適さない。
- ☆木星 (-2.5等前後)：おひつじ座付近 日の出前、南東から南の空で明るく輝く。
- ☆土星 (0.5等前後)：みずがめ座付近 真夜中、南の空で輝く

注目の天文現象(8月) ～土星が見ごろ、南東の空で土星を探してみよう～

美しい環をもつ惑星として有名な土星ですが、8月は3日と30日に月と土星が並んで見えます。3日は21時頃に月と土星が地平線から昇ってきます。このため、高い空に昇ってくる深夜が観察しやすくなります。30日には地平線から月と土星が昇ってくるのは19時頃と早まり、宵の時間帯から観察することができます。両日も満月の前後にあたるため、月の明るさに比べると土星はひかえめに輝いていますが、満月の近くにあるため見つけやすいでしょう。2つの天体が並ぶ様子をぜひ、観察してみてください。

また、土星は8月27日に『衝(しょう)』となります。『衝』は、太陽系の天体が、地球から見て太陽とちょうど反対側になる瞬間のことです。『衝』の頃の土星は太陽が沈む夕方ごろ東の空から昇り、太陽が昇る明け方ごろに西の空に沈むので、一晩中見ることができ観察しやすい時期です。この好機に、土星を観察してみたいはいかがでしょうか。

日	日の出	日の入
1日	5:29	19:19
15日	5:39	19:06
31日	5:50	18:47

(久留米市)

日	曜	天文現象	日	曜	天文現象
2	水	○ 満月 (03:32)	22	火	伝統的七夕 (旧七夕)
8	火	● 下弦 (19:28)	24	木	● 上弦 (18:57)
13	日	ペルセウス座流星群が極大	27	日	土星が衝 観望の好期
16	水	● 新月 (18:38)	31	木	○ 満月 (10:36)